

ミュージアム コンサート
Museum Concert

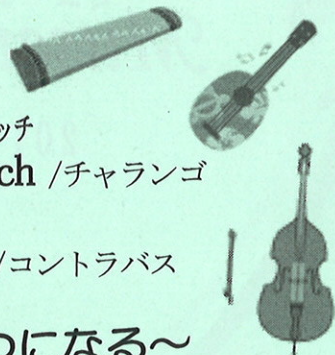
2019年8月10日(土・祝) 14時~15時

演奏者 ^{きはら ともこ}
木原 朋子/ 箏



^{ディアゴ・ヤスカレーヴィッチ}
Diego Jascalevich / チャランゴ

^{なかの ちから}
中野 力 / コントラバス



テーマ **~世界の音がひとつになる~**

= program =

O Solo Mio オー ソロ ミオ Diego Jascalevich 作曲
 <<チャランゴのための幻想曲>>

北アルゼンチンの貧しい家庭の子守歌 Julio Espinoza 作曲

La Hurtada 盗み Diego Jascalevich 作曲

Huaynot-t ファイノット ティー Jorge Cumgo 作曲

Rosa de Hiroshima ヒロシマの薔薇 Vinisius De Moraes 作曲

Suit para Charango チャランゴのための組曲
Diego Jascalevich 作曲

Pajarillo Verde パヤリロ ベルデ ヴェネズエラの無名の作曲家

Pontyado ポンティアード Diego Jascalevich 作曲



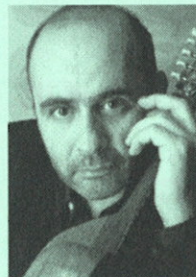
= 演奏者紹介 =

^{きはら ともこ}
木原 朋子 (箏)



エリザベト音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。2004年 NHK 邦楽オーディション合格。NHK 新春コンサートに出演。第19回賢順記念全国箏曲コンクール銀賞及び福岡県知事賞受賞。2015年 橋本真秀氏のKOTOプロジェクトの箏奏者に抜擢され、ドラムのピーター・アースキンらとレコーディングしたCD『輪音~WAON~』は日米2箇所リリース中。2017年「ATOWA」メンバーとしてパリ Japan Expo に出演。現在沢井箏曲院教師、比治山女子中学・高等学校非常勤講師、エリザベト音楽大学講師。

^{ディアゴ・ヤスカレーヴィッチ} (チャランゴ)



世界的チャンゴ奏者。アルゼンチンのブエノスアイレスで育ち、ブラジルのバヒア、イタリアのローマで活躍、その後、ドイツに移住。イタリアのテノール歌手、アンドレア・ボチェッリ、フラメンコギタリストのホセ・ルイス・モントーンの伴奏者として多くのCDに参加している。クラシックの音楽を勉強するために、ドイツに渡った彼が、自分の故郷である南米の音楽に根をおきながら、ヨーロッパ古典音楽との橋渡しの中で、独自の音楽を作り上げている。

^{なかの ちから}
中野 力 (コントラバス)



1964年広島県呉市出身。30代でプロミュージシャンとなり、バイオリンの桑野聖とバンド「はらから」を結成。参加したCDは20タイトル以上。現在、専門学校と大学の講師。ジャズ、フォークなど多ジャンルのライブを行う。

= 演奏者コメント =



東洋の楽器: 箏、南米の楽器: チャランゴ、西洋の楽器: コントラバス、
 三大大陸の音色が融合する。♪

そこにしか生まれえない音楽をどうぞお楽しみください!!!